

施策マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中に記入)

長期振興計画の位置づけ	まちづくり分野	ひと分野	担当課			健康保険課		
	政策分野	健康・福祉	課長名			長野 望		
	施策	19 健康づくりの推進			重点施策の該当	H29	—	H30
施策の目的	対象	市民		意図	自ら健康づくりに取組み、心身ともに健康で安心した暮らしができる			

施策の目標指標

目標指標(単位)	長振策定時	指標の推移(下段の()書きは当初見込み値)					最終目標値
	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標値	2019年度目標値	2020年度目標値	2021年度目標値	
自分を健康だと思う人の割合(%)	61.1	58.0 (63.0)	65.0	67.0	67.0	67.0	
健康管理に取り組んでいる人の割合(%)	90.8	91.5 (92.0)	92.5	93.0	93.0	93.0	

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

平成29年度実績		平成30年度実績		2019年度実績		2020年度実績		2021年度実績	
重要度(%)	満足度(%)								
74.9	36.9								
重要度DI	満足度DI								
72.5	24.2								

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	長振策定時	指標の推移(下段の()書きは当初見込み値)					最終目標値
			28年度実績	29年度実績	30年度目標値	2019年度目標値	2020年度目標値	2021年度目標値	
地域医療体制の充実		現在の医療に満足している人の割合(%)	28.7	30.0 (30.0)	35.0	40.0	45.0	50.0	
各世代に応じた保健事業の実施		がん検診の受診率(%)	11.4	10.7 (20.0)	25	25 (30)	30	30	
各世代に応じた保健事業の実施		国保特定健診の受診率(%)	37.8	36.8 (40.0)	40.0 (60.0)	44.0 (60.0)	48.0 (60.0)	52.0 (60.0)	
健康づくり推進体制の充実		地域での各種教室参加人数(人)	37,185	49,183 (50,000)	50,000	50,000	50,000	50,000	
健康づくり推進体制の充実		保健センター利用者人数(人)	14,398	10,807 (15,000)	15,500	16,000	16,000	16,000	

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
<p>国・県は疾病予防、中でも生活習慣に起因する疾病の発症予防、重症化予防に力を入れている。各種教室や広報活動の中で、運動習慣の定着など、自らが健康づくりに取り組む市民の増加に努めた。又、健(検)診のデータを基に保健指導を行い、運動、食事、休養、飲酒・喫煙などの生活習慣の改善や医療機関未受診者の受診につながるよう努めた。</p>	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題	
成果	元気度アップポイントの付与や景品の支給など行っているが、受診率はほぼ横ばいである。
現状・課題	生活習慣の改善や医療機関未受診者対策等の保健指導のためには、健康診断や検診データの活用が有効であるが、本市の健(検)診受診率は伸び悩んでいる。
今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)
拡大・充実	市民全体への健康づくりの啓発を引き続き行っていくとともに、健(検)診データを活用した個別の保健指導充実のために、健(検)診未受診者対策を強化する。

②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
拡大・充実	<p>【市民福祉部会意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○がん検診の受診率が下がっている。アンケートをとったところ、『健康だから必要ない』『時間がない』という回答がみられたため、個別の案内の仕方を考える必要がある。意識を変える取り組みが必要。 ○死亡率の高い、三大疾病に対して、検診データを分析して、予防対策をしてほしい。 ○がん検診や特定健診(国保)のデータについて把握しているが、被用者保険のデータが無いので分析できる範囲に限られる。そういったデータも今後活用できればもう少し広く予防対策にも取り組める。